

(1) レジ袋削減と行政計画との関係について

1) レジ袋削減の分別収集計画等への位置づけ

- ・循環型社会の形成に関する施策を総合的かつ計画的に進めるための「山口県循環型社会形成推進基本計画（第2次）（平成23～27年度）」において、レジ袋辞退率（92.0%（平成27年度数値））を目標に掲げて取組の促進を図っている。
- ・分別収集計画においては、容器包装廃棄物の排出の抑制及び分別収集の促進の意義に関する普及啓発活動として、マイバッグ持参等によるレジ袋の減量化等を実施することとしている。

2) レジ袋削減対策の各種施策における重要度について

- ・今年度改定する「山口県循環型社会形成推進基本計画（第3次）（平成28～32年度）」において、「県民総参加による3Rの推進」を重点プロジェクトに掲げ、その中で、「マイバッグ持参運動」等によるレジ袋等容器包装の削減に努めることとしている。

(2) 近年のレジ袋削減の取り組み状況について

1) 近年取り組んだレジ袋削減の取組の内容

- ・全県的な取組を進めるため、推進母体として、スーパーや団体、市町、県等による「山口県容器包装廃棄物削減推進協議会」を平成20年11月に設置しており、その中で、今年度は以下の取組を実施した。
- ・普及啓発用のマイバッグやパンフレット、ちらし、リーフレット等の作成及び掲示又は配布を実施した。
- ・スタディツアーの実施（容器包装廃棄物〔食品トレー〕のリサイクル工場見学）

【クリーニング店専用のポスター及びステッカー】



(出所：山口県)

【山口県内の大学生・短大生を対象に配布・掲示されたマイバッグ及びポスター】



(出所：山口県)

2) 当該取組の効果と課題について

- ・様々な取組の結果、幅広い県民への普及啓発効果が期待できることである。
- ・現時点において特に深刻な課題はない。

3) 今後のレジ袋削減対策の拡充予定（強化したい取組、新たに取組みたいもの）

- ・県民総参加によるごみ減量化の運動を推進する中で、一層のレジ袋等の削減対策を展開したい。

(3) その他

1) 三者協定の取り組みの状況・効果と課題

- ・山口県では、平成 21 年 1 月に、41 の事業者、20 の市町、6 の消費者団体と三者協定を結び、レジ袋削減に取り組んでおり、現在のレジ袋の辞退率は 92.1%（平成 27.3）となっている。
- ・しかしながら、近年は新たに協定を締結する事業者数は減少している。

2) レジ袋有料化の取り組みへの参加店舗数について

- ・スーパー、小売 369 店舗
- ・クリーニング 724 店舗